

注意するのは、土砂災害警戒区域だけじゃない

土砂災害は、台風や長雨が続いた後に激しい雨が降ると発生の危険が高まります

土砂災害に注意

何日も続く長雨により、各地で土砂災害が多発しています。土砂災害からいのちを守るために、知っておくと良いポイントを紹介します。

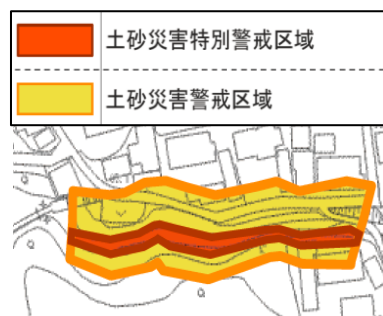
① 身のまわりの危険を知る

自宅のまわり、仕事場、学校、通学路などの身近な場所にある

「土砂災害特別警戒区域」や「土砂災害警戒区域」を、「土砂災害ハザードマップ」や「ちずみる豊橋」で確認しましょう。

避難場所や安全な避難経路を事前に確認しておくことが必要です。

区域に指定されていない場所も土砂災害が発生する可能性があります。



豊橋市河川課
土砂災害ハザードマップ



ちずみる豊橋
(防災情報マップ→土砂災害情報マップ)



マップあいち
(土砂災害情報マップ)



② 早く避難する

土砂災害警戒区域等に指定されていない場所でも土砂災害は発生します。

土砂災害発生の可能性がある場所に住んでいる方は、早めに避難しましょう。

豪雨などにより、避難場所への移動が難しい場合は、斜面から離れた場所(できれば建物の2階以上)へ緊急的に避難しましょう。

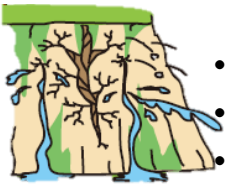


③ こんな現象には、要注意！

崖崩れや土石流、地すべりには前兆現象があります。**裏面**を読んで災害に備えてください。

がけ崩れ

雨や地震などの影響で地盤がゆるみ、突然斜面が崩れ落ちる現象です。



【前兆現象】

- ・小石がぱらぱら落ちる。
- ・がけに裂け目ができる。
- ・がけから水が湧き出る。



土石流

山や川を構成する土砂が大雨などにより発生する大量の水と一緒に激しく押し流される現象です。



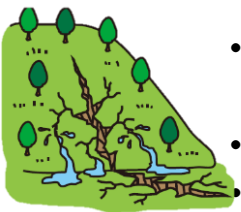
【前兆現象】

- ・山鳴りがする。
- ・流れが急に濁ったり
流木が混ざったりする。
- ・川の水が急に減り始める。



地すべり

地下水などの影響により、斜面を構成する土の塊が斜面下方にゆっくり大きくすべりだす現象です。



【前兆現象】

- ・斜面や地面にひび割れができる。
- ・斜面から急に水が湧き出す。
- ・沢沿いの井戸の水が濁る。



土砂災害に関する気象情報・緊急情報を自分で調べる場合

○パソコン、スマートフォン等で調べる

- ・豊橋市（豊橋市 防災・災害情報）
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6607.htm>
- ・愛知県砂防課（愛知県土砂災害防災情報）
<http://www.sabo.pref.aichi.jp/>
- ・気象庁 気象情報・土砂災害に関する情報
<http://www.jma.go.jp/>
- 携帯電話で調べる
- ・豊橋市ほっとメールホームページ
<http://www.lamo.jp/toyohashi>

QRコード*



*QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

災害情報を確認したい場合

○豊橋市防災アプリ ハザードン



- ・ハザードマップ
 - ・避難所開設状況
 - ・リアルタイム気象情報
などが確認できます。
- ※登録は無料です。

お問い合わせ先：豊橋市建設部河川課
豊橋市防災危機管理課

TEL 0532-51-2535
TEL 0532-51-3116